

ケアハウス・デイサービスセンター  
**「呉ベタニアホーム」**  
 グループホーム・小規模多機能ホーム  
**「呉ベタニアホーム長迫」**

グループホーム・個別対応デイサービス  
 ヘルパーステーション・居宅介護支援事業所  
 呉市地域相談センター・サービス付き高齢者向け住宅  
 カフェごはん



# 「ハレルヤ」 ベタニア

社会福祉法人 政樹会  
 理事長 佐藤孝義  
 〒737-0045 呉市本通4丁目3-21



認知症予防カフェ デザート作り風景

政樹会の理念は、『人にしてもらいたいことを人にもしなさい』ルカ6・31です。運営方針は、「私たちは、全人的ケアを行い、社会に任せられ社会に仕える、時代のニーズに応える、福祉は人であるを目指します」です。

平成25年6月オープンしたサービス付き高齢者向けマンション「ハレルヤ」は、政樹会の運営方針「社会に任せられ社会に仕える、時代のニーズに応える」を実現した事業です。

マンション「ハレルヤ」は、自由に外泊、外出できます。医師も看護師もヘルパーも選べます。食事もレストランで食べることも、自分で作ることもできます。家族が、いつでも出入りすることができます。人生の締めくくりに、今までの生活を継続できるよう、必要なサービスを必要なだけ、自分の生活に合わせて選択できるようにして、既存のサービスの不可能を可能にしました。



施設長 里村佳子

時代のニーズにこたえる  
「ハレルヤ」

## にぎわい再建 商店街

### 第2部 個性を生かす ②

「手を動かすと脳がでは地域おこしが喜びますよ」。職員の「さるはず」。運営する助言を聞き漏らすまい。政樹会理事の里村佳子と、高齢者が耳を傾けさん(59)は、商店街にいた。呉市中心部の施設を置いた理由について、高齢者向け住宅ハレルヤで説明する。

## 認知症予防交流カフェ

### 高齢者の居場所

「手を動かすと脳がでは地域おこしが喜びますよ」。職員の「さるはず」。運営する助言を聞き漏らすまい。政樹会理事の里村佳子と、高齢者が耳を傾けさん(59)は、商店街にいた。呉市中心部の施設を置いた理由について、高齢者向け住宅ハレルヤで説明する。

ハレルヤは2013年5月、呉市役所通商店街(中通4丁目、本通4丁目)にできた。「高齢者の受け皿をつくり、人の流れをつくる。社会福祉法人なら



里村さん(右端)の話に耳を傾ける認知症予防カフェの受講者

減り、商店街が活気を失っていったという声は多い。そうした嘆きには、地域のコミュニケーションが乏しくなつたという意味合いも含まれている。

月1講座計画  
 福祉の現場に20年近く身を置き、孤立しがちな高齢者に接してき

た里村さん。かつての商店街を舞台に高齢者たちの交流の場をつくる動きがある。

空き店舗活用  
 呉三城通商店街(三

2015年6月17日(水) 中国新聞朝刊掲載記事です。

### 伊藤正泰師 帰天



伊藤正泰牧師は、6月10日未明、大腸がんのため、大津市の病院で召天されました。77歳でした。12日、インマヌエル京都伏見教会で告別式が行われました。

先生は、インマヌエル呉教会在任時から、政樹会の設立、呉ベタニアホームの運営に貢献され、そのお人柄は人々に大きな感化を与えてくれました。

惜しむにも余りあることですが、先生が天国で、神様から愛と慰めを頂いておられることを信じ、ご遺族のお慰めを祈るものです。

### 編集後記

今年も半年が過ぎました。月日を積み重ねる中で、政樹会の働きは広がりがつあります。どのような状況の中に在っても、皆さまの平安の中で、一つ一つと向き合う中で、皆さまの恵みを見ています。

日頃、お祈り頂き感謝します。続いて、お祈りとご協力をお願い申し上げます。

神さまのご祝福をお祈りしつつ (T)

有意義に自分らしく生きたいと願う方のニーズに応えられます。

今までにはないサービスのため、認知されるには時間を要しましたが、「時代のニーズ」に適っていると信じていました。

今年3月、入居者や関係者などの紹介で満室となり感謝です。さらに、マンション「ハレルヤ」入居者のレストラン「カフェこはんハレルヤ」を地域に開放し、高齢者も障害者も、若いママも子供たちも、みんな集まれるようにしました。地域の交流の場になれば、市役所通りが活性化され、社会貢献ができ運営方針の「社会に仕えること」ができます。

政樹会の理念である『人にしてもらいたいことを人にもしなさい』を行うためには、運営方針「福祉は人であるを指します」をもとに、理念を共有できる職員を採用し、心も身体も全人的で専門的なケアを行えるよう職員研修に力を注いでいます。

職員を愛し、愛された職員は、利用者に愛を持って接することができるよう、まず自分自身が毎朝祈り、神様から愛を頂いています。

私たちは、常に理想的な運営をできるわけではありません。特に、新しいことをす

る時は、リスクがあります。失敗し悩み迷うこともあります。その様な時にこそ、政樹会理念に立ち返り、本当に大切なことは何か、どのような道を歩めば良いのかと、神様の導きを祈り求めます。

神様は、これまでも、必要な助けを与えて下さいました。これからも、同じ助けと恵みを与えてくださると信じています。

今年4月、介護報酬も下がり、今回の改定は、私たちには大きなマイナスの影響を受けます。建物の改修、建替えに對しての補助金がなくなった現在、その備えを自らで努力しなければなりません。こうした逆風の中で、私たちは地域の中で、いかに社会福祉法人として、社会貢献するか、存在意義を問われています。

呉市の中で、ハレルヤがあつて良かったと喜ばれるような存在であり続けたいと願います。お祈りに覚えて下されば、感謝です。

### グループホームべたにあ 呉みなと祭りパレード見学

「今度、みなと祭りのパレードを見に行きましょね！」

「ほんまー？ 楽しみ、連れて行ってね」

来たる平成27年 4月29日水曜日、ご入居者はもちろん職員も、ずっと楽しみにしていた『第58回 呉みなと祭り』のパレードの見学に行ってきました。

グループホーム入居者6名、職員6名の、総勢12名での出陣でした。

パレード見学を、ずっと「楽しみ」だと言われていたIさん。一生懸命ダンスを披露する子供たちに、思わず感涙されていました。

最初は「行きたくない」の一点張りだったUさんは、海上自衛隊の鼓笛隊の演奏に、敬礼で応えられ、その後も続々とやってくる演奏隊をご覧になり、最後は涙を流しておられました。

終始ノリノリでパレードを見学されていたKさん。なんと、創作ダンスでパレードに参加されようとする一幕も！

いつもクールなFさんも、辺りの賑やかな様子に「たまにはこういうのを見るのもいいわね」と、ニコニコご機嫌なようでした。

### 「笑いヨガ」

ケアハウスでは、平成26年10月から3月まで、定期的に食堂で笑いヨガを行いました。昼食前という時間設定もあり多くの方が参加してくださいました。最後にアンケートをしたところ、半数以上の方が笑いヨガをしてよかった、また今後も体操などを行なってほしいとの結果でした。

笑いヨガは、デイサービスでもレクリエーションで行っており、笑う事でストレスが少なくなつたと好評でした。挨拶でおひとりおひとり握手しましたが、最初の頃は涙ぐまれる方、手を握って離れない方がおられました。



グループホーム みなと祭り見学風景

ベタニアホームが掲載されている「CSは女子力で決まる」の単行本の売り上げの一部を、広島土砂災害支援のために寄付しました。

